



龍
うし

戦
士

メ
ン

成人向け
R18
ADULT ONLY



…本当に行くのかい？
ここいらに土地勘がある奴は
滅多に近づかねえってんで
有名なんだぜ？

かくいう俺も
おっかなくて
早く帰りたいんだが

まあ

前金分の仕事
はするけどよ

おっと、着いたぜ！
悪いが案内できるのは
ここまでだ



こんな所まで金出して
足を運びたがるたあ
流石は冒険者ってか？

しかも単独で探索する
奴なんて聞いたことも無いぜ
何モンだよアンタ…

…
忠告ありがとう
はい、残りの運賃

お、おお！
すまねえな！

ただ気を付けたほうがいいぜ…
つい最近この辺りに見たこともねえ
バケモンがうろついてたみてえだよ

人々…
どーなってるんだか





オレは長居したくねえから帰るけどよ!

アンタもあんまり無茶なことはせずに引き返したほうが良いぜ



…あの御車の怯え方といい:

この一帯から微かに漂ってる「死臭」から鑑みるにやっぱりここは:

私の読み通り「魔物の巣窟」になっている…!



流浪の女戦士 テイータ

この付近に貴重な呪いの遺物があるらしく

魔物の駆除依頼ついでに回収して路銀に変えようかと思ったけど

思ったより厄介な話ね…

魔物が集まっているのもしかしてそれが原因なのかも…?



確実にこの辺りにいる！
この奥から立ち込める
殺気は間違いなく魔物
から発せられてるはず！



…近づいている…
空気が重い…
あきらかに魔物の匂いが
強くなってきている！



コイツが例の魔物！
負傷している…？

他の魔物と争って
かなり気が立ってる…！



しかも…

この傷跡は魔物同士の
争いで出来た傷じゃない…
一体…

…既に事切れていたのね…
こんな大型の捕食者に深手を
負わせるなんて…





別の魔物：いや、
恰好を見るに獣人族の剣士…
しかもかなり強い！



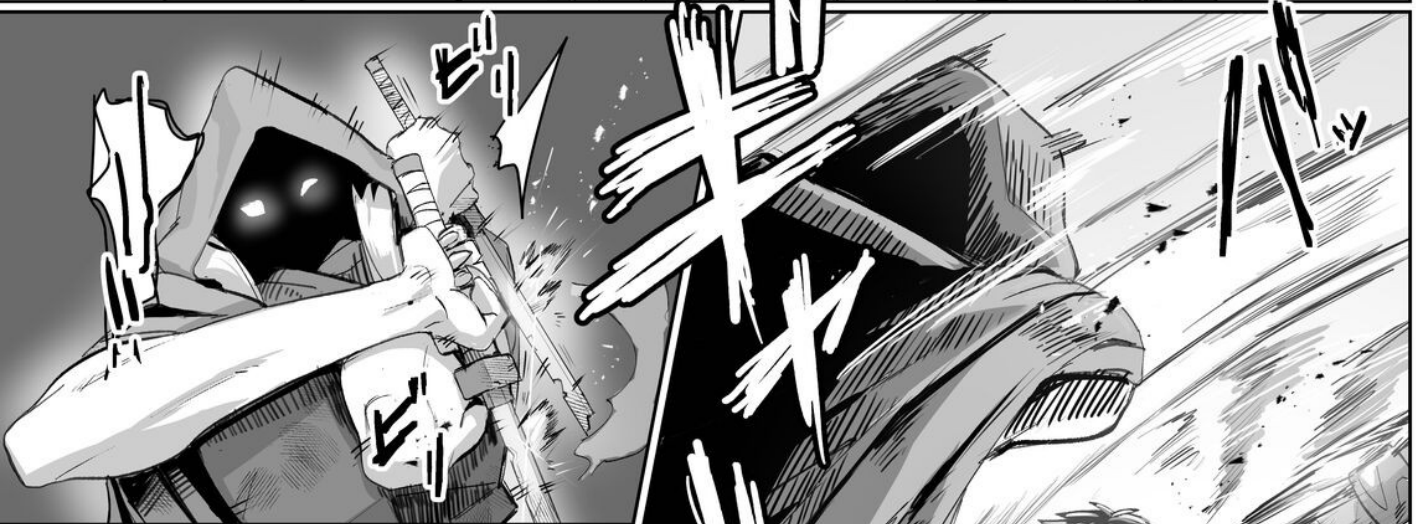
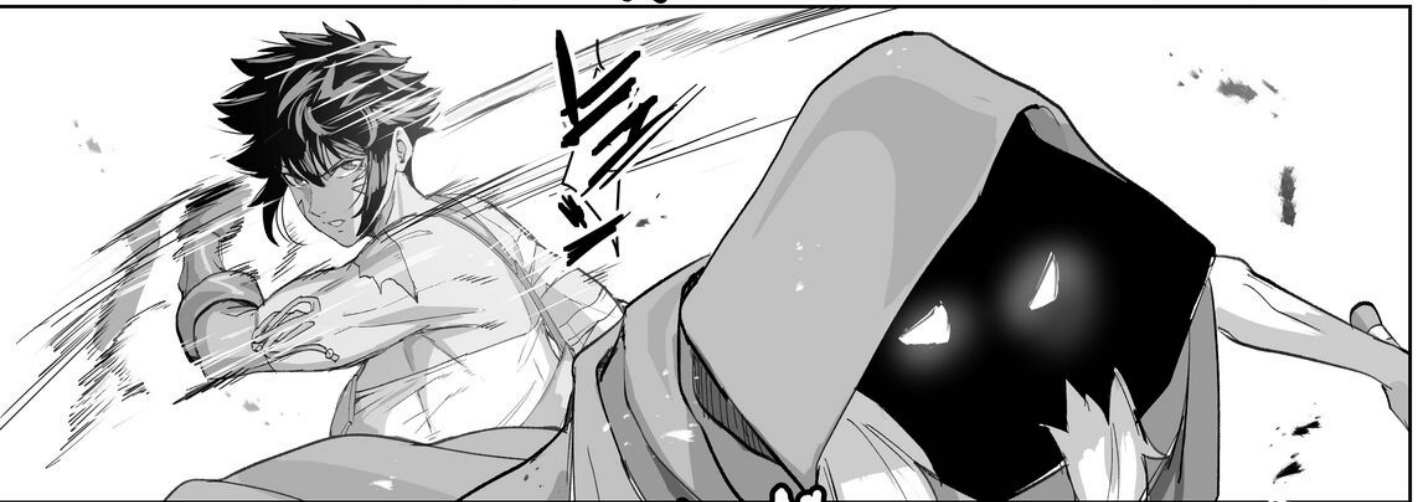
あの魔物を仕留めた直後
だからか進るような
プレッシャーね、でも
どこか様子がおかしい気が…

…なのに
直前まであふれ出ていた
『殺気』が消えた…？

…ッ！
凄まじい覇気…

コイツは…



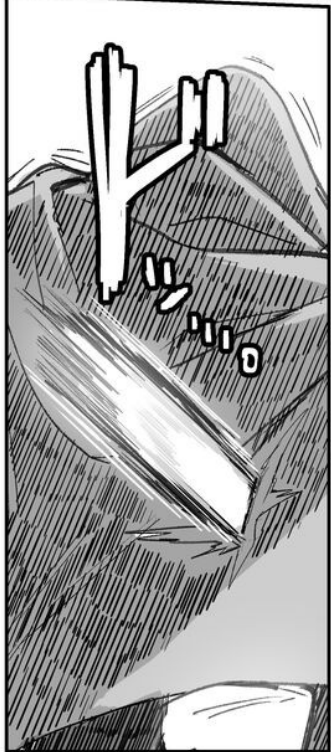




このまま真正面から
打ち合ってもジリ貧…
…だったら!



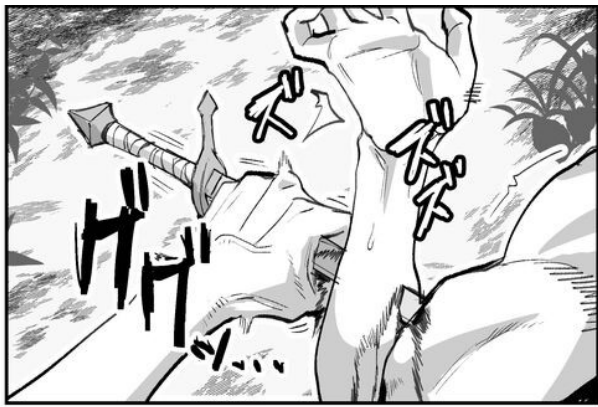
やっぱりコイツは強い…
不意を突いたのに
体勢を整えて即迎撃!



武器を構えられない
今ならッ!







驚いたよ…同族以外でここまで追い込まれたのは…

苦し紛れに森の奥で拾ったガラクタをぶつけてみたけど…おかげで命拾いましたよ



正直に言うとき

こんな魔物だらけの場所に一人でノコノコやってくるなんて余程の馬鹿か命知らずかと思っ

あと少しで腕どころか首まで持ってかれそうになるなんて…アンタ一体何者なんだ？

ティータにはめられた首輪
呪われた遺物である
「狩人の首輪」には
血を浴びた者の力を己の糧と
することができる



だが代償として
呪いにより自力で外す
ことができず、特殊な方法か
呪術師でなければ解呪する
ことが出来ない
さらには血を啜った相手の特性
を装着者の意志とは関係なく
受け継いでしまう

ティータを蝕んでいる呪いとは
この若いワーウルフから浴びた血に
よるものであり、付与されてしまった
特性とはつまり



「発情期」である
はなせ!!

頭がくらくらする…
考えがまとまらない…
とても反撃できる状態じゃない…
どうにかしないと…ッ!



くっ…
一体何が…
目的なの…!!





ドの

ドの

襲うなってほうが無理があるだろ？

強い雌がたまらない匂いで誘ってるんだ

なにッ！
何をッ……！



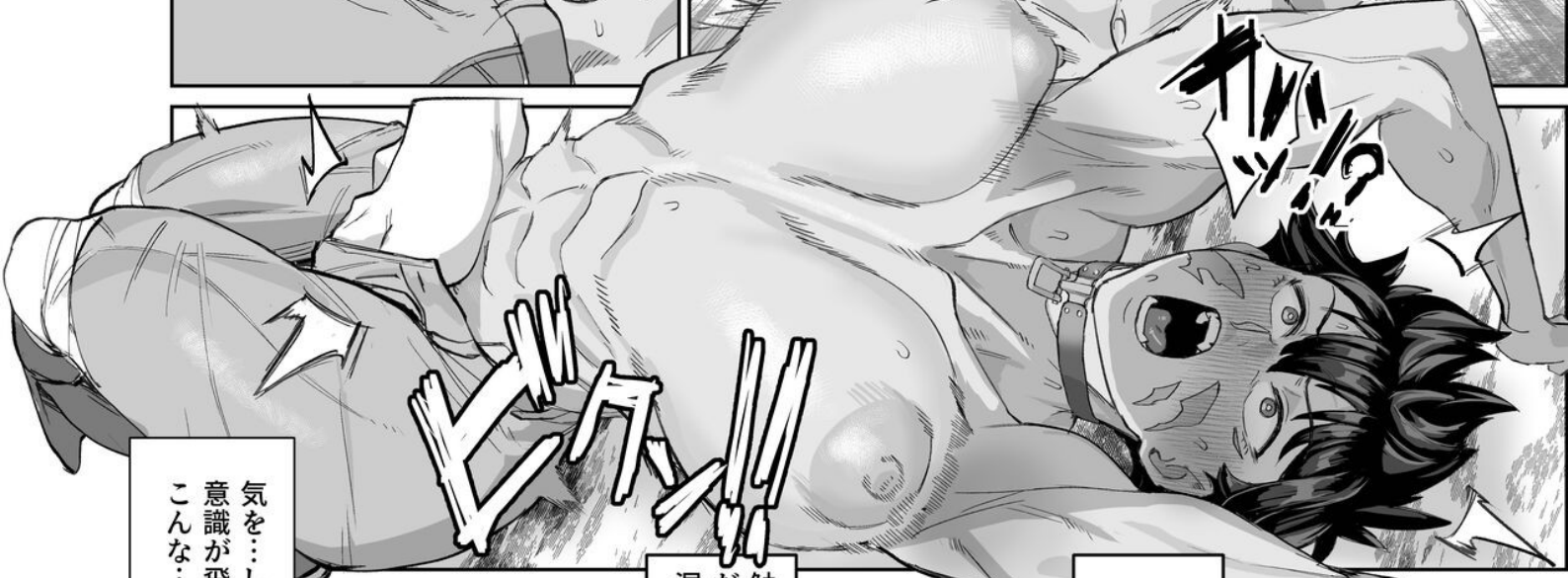
ブルン

！！

ブルン



ズルッ



ズン

！！

気を……しっかり持たないと意識が飛びそうになる……ッ
こんな……魔族なんか……ッ……

触れられただけで声が漏れ出してしまうッ

な……何ッ……？
身体が勝手に……ッ
のけ反ってッ……？



ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン





んじゃア早速で
悪いんだけどさ

コイツを静めるの手伝ってよ
昨日から高ぶってて
こんな感じになってさ

……ッ!!
何よこれ!!
お…大き過ぎる…!
これがワーウルフの陰茎…!

どう?俺のチンコ?
あんまり獣人のモノを
見ると滅多にないでしょ?
ちょっと大きいかもしれない
けどよろしく頼むよ

太さも…長さもまるで
人のモノとは違う…!
凶暴なまでに膨れ上がってる…!



こんなモノを…
もし入れられたら…



ツ…すえた雄の…
獣の匂い…嗅いだだけで
頭がクラクラする…

いきなり啜えてくれるなんて
人族ってのは年中盛ってる
ってのは本当なんだな

それとも単に
アンタがかなりの好きモノ
だからかな？

…調子にのってッ



どう？俺のイチモツは、
結構大きくて啜え甲斐が
あるでしょ？

俺も女日照りが続いててさ、
アンタみたいな雌が
相手してくれて最高だよ



…今はまだ…
抵抗するべき
じゃないわ…

この首輪のせいで私の
身体が必要以上に敏感に
なってるんだわ…

とにかくコイツを
満足させて動けるように
なるまでの時間を稼が
なきゃ…





一回出しただけじゃ満足できないんだよなあ

でも、悪いんだけど



ちょっと拙いフェラだけど
アンタの切なそうな
顔見たらつい出しちゃったよ



アンタも辛そうにしてるし
お互いに気持ち良くなるには
やっぱり交尾だよな





息ができないほど苦しい
…苦なのにッ…

おッ…大きすぎる！
お腹の中の、子宮の
一番奥を…ッッ

身体が獣のモノ
で満たされることに
快感を感じてる…？



鍛え抜かれた強い雌の身体を
味わえるなんて最高だ!



突くたびに
アンタのナカが熱くうねって
締め付けてきてるけど



そんなに俺のモノの具合
が良いのかい？
いやあ、嬉しいねえ



お…終わった…の？
もう何も…考えられない…
…もうこれ以上…は
堕ちてしまう…快楽に…

獣の雌にッ…



なあ？

俺好みの雌がモノ欲し
そうにしてたら



アンタと俺との
身体の相性が良すぎて
治まんねえのとき

あー全然出し
足りねえ…また
勃ってきちゃった



ここから先の記憶は殆ど無い：
凶暴な肉棒に膣奥を突かれながら夥しい
量の精を注ぎ込まれ、僅かな抵抗する気力
すらすりつぶされた私は：

ついに堕ちてしまった

ドイ
モッ

バ
チ
ユッ

あ
い
ッ

ボ
ッ

首輪につながれた
彼のツガイの「雌」として：

このワーウルフの
快楽を満たすための
「ツガイ」にされ、彼が満足する
まで何度も犯された

最早首輪の呪いを解いて逃げる
ことなんて記憶の片隅に
追いやられていた

今は与えられる
快楽に喜び身悶えるしかない

あ
ッ

ド
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

あとがき

お買い上げいただきありがとうございます
相変わらずギリギリの脱稿になり
かなり焦りました…何はともあれ
無事に作品を完成出来てホッとしました

登場人物について軽い設定なのですが、
主人公のティータは単独行動を旨としていますが
実はたまに知り合いとパーティを組んだりしますので
完全な一匹狼ではありません、後設定的に戦闘に関しては
かなり強いほうです

一方人狼さんですが喋り方的に若いワーウルフさんですが
かなりの腕っぷしえあり、同族の中でもかなりの
プレイボーイだったせいか村を追い出されてしまい、
しょうがないので着の身着のままな旅をしていると言う
感じになってます
ゲームで言うところの隠しダンジョンに出てくる
敵キャラ並みに強いです
そんな奴に真っ向勝負なら負けないティータはさらなる
化け物です

発行日：2023/12/31

印刷所株式会社サングループ

発行者：くがら

連絡先：kugarashuu4423@gmail.com

Twitter：@kugara4423



くから